

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		120404		道路施設維持管理事業		担当部課	120400	2998-9168	
事業コード		120404		道路施設維持管理事業		建設部道路維持課			
開始年度		25		年度		終了年度	年度		
グループ		維持補修グループ							
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	章	街づくり		節	道路		基本方針	道路環境の整備
事業開始の背景	昭和40年代後半から道路の舗装化が進み、現在4m以上の市道実延長約407kmに対し約99%の舗装率となっているほか、4m未満の車両通行可能路線についてもほぼ舗装済みとなっている。これら舗装化された道路は施工時期がほぼ同じであり、いずれも経年劣化が著しいため、穴ぼこやひび割れの緊急修繕の必要性が高まってきている。また、交通量も増加傾向にあり、車両の大型化等も影響して道路舗装の損傷が激しく、計画性をもった路線的な改修の必要性が出ている。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 道路の保全と通行の安全のため、老朽化した路面や機能が低下した道路施設を補修して安全性、信頼性を確保する。老化している道路の改修を計画的に行い、道路利用者の安全を確保するとともに、沿道の生活環境の改善を目指す。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	2,899	件			
	舗装の損傷(穴ぼこ)及び水たまり等が発生した市道 経年劣化による騒音や振動等、路線的な改修を必要とする市道			平成 27 年度	3,409	件			
	事業の具体的な内容及び実施方法  ・市民からの要望箇所や職員による道路パトロールにより、修繕等が必要な箇所について現地調査を行い補修等を行う。 ・市で管理する幹線道路等について、大型車交通量や舗装の老朽化等の要因で進行した路面の損傷程度や、沿道住民の生活への影響等、さまざまな状況を総合的に判断し、限られた予算の中で優先度を決めて、計画的に舗装改修を行う。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			684,600	653,850	605,573			
	決算(見込み含む)			684,362	653,486				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	8.10 人	70,640	9.06 人	78,460				
	事業費合計			755,002	731,946				
財源内訳	一般財源			755,002	731,946	605,573			
国・県支出金			0	0	0				
その他			0	0	0				
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	要望・通報件数	処理件数	件	2,899	3,409	3,000	3,000	
		パトロール件数	処理件数	件	456	344	300	300	
道路舗装改修工事		路線数と路線延長	m	2,134(8路線)	1,329.3(9路線)	1,504(10路線)			
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	要望・通報処理件数	対応件数/要望件数	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	2,899	3,409	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図				
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	97	114	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	補修の方法として、天候により材料を使い分けることによって穴ぼこの再発防止につながった。また、穴ぼこ通報キャンペーンを行い、市民に道路へ関心を持ってもらい穴ぼこ等の通報をいただくことで、迅速な補修が可能となり事故の減少につながった。								
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	経年劣化等により道路の損傷が増す中で、道路の保全と道路利用者の安全を確保する必要がある。			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		経年劣化や異常気象により道路の損傷が進む一方で、市民からの要望は年々増加しており、その対応が必要である。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	今年度も穴ぼこ通報キャンペーンを実施し、多くの市民に道路へ関心を持ってもらうよう呼びかけた。また、引き続き道路パトロールを強化し、道路状況を把握し、迅速な修繕を行い道路の安全性を確保していく。				年々、市民要望や道路の損傷箇所は増加しており、市民要望や道路パトロール等を参考に優先順位を決定し、計画的に工事をしていく。				
評価日	H28.8.16		評価者職氏名	道路維持課長 片岡 秀樹					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	補修・改修工事の実施		規制を受ける環境法令等	有	
							緊急事態	有	